

Wear a Skin vol. 4

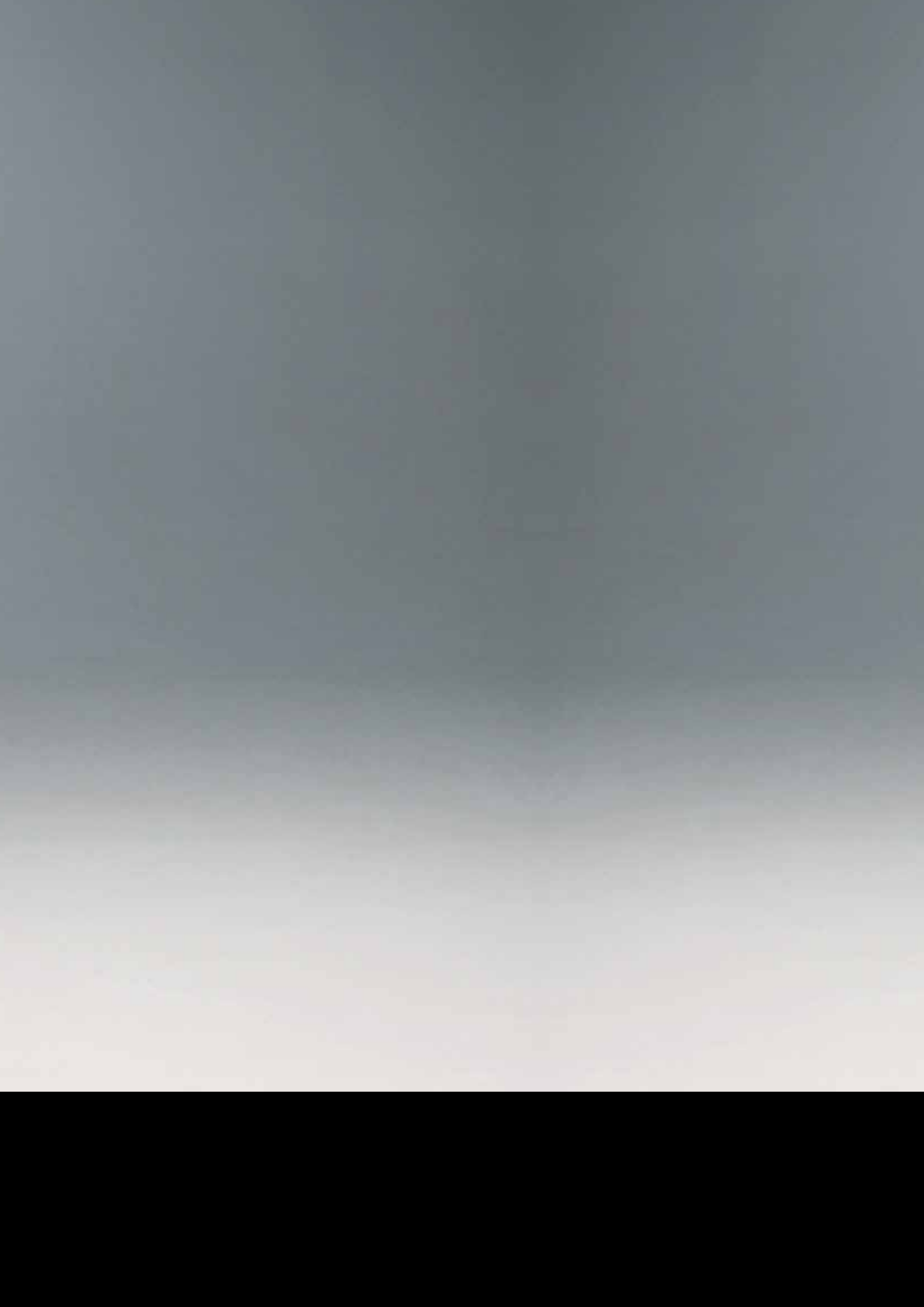


NAKAZAWA MANAMI

中澤 麻奈美









「Wear a Skin」

「Wear a Skin」というシリーズで制作を続けている。

このシリーズでは、常に特殊メイクの技法を用いて身体に異様なモノを浮かび上がらせることを行っている。

制作のきっかけとなったのは、特殊メイクへの興味と、そして何よりもヌバ族という民族の入れ墨装飾を見た時のショックからであった。

その入れ墨は皮膚を傷つけ、傷跡となったミミズ腫れによって模様が描き出されているものだった。勿論ミミズ腫れなので、入れ墨は皮膚と同じ色をしているので、身体の一部であるという事は一目瞭然であった。

この制作に於いては、浮かび上がったものがあたかも“身体の一部である”かのように見えることを目指しており、リアリティーがなくてはならない。その為には身体・皮膚の上に直接イメージを埋め込むことが必要である。そうすることに何か特別な意味を持たせたいとか、それによって何かを表現したいわけではない。しかし、そうすることでどう見えて来るのかには大変に興味がある。それは好奇心のようなもので、ただの衝動で続けてきた制作なのだ。

人は必ず「痛い」や「痒い」といった経験をしている。このような作品を他者が目にした時、そういったある種の皮膚感覚で感じてしまう事はどうしても避けられないであろう。けれども、そこに狙いがあるのではなく、むしろそのような感覚からは遠ざけたい。その為に描く模様、浮かび上がらせるディティールは、テキスタイルに頻繁に使われる柄、服の一部など多くの人がそれと認識できるものの中から選択している。

私たちの文化圏では服を着ることは当たり前であるが、世界にはそうではない民族が現在も存在する。そうした民族の入れ墨には権力の誇示や通過儀礼など、その民族それぞれに意味があるのであろう。しかし私たちの社会での「入れ墨」といえば、確かに以前より気軽に行う人が増えたように思うが、まだまだ反社会的でタブーとされている。服を着るという生活習慣を持たない民族と、服を着ることが常である私たちは、装飾するという同じ行為を行うが、そこには文化の違いは勿論、大きな意識の差が存在すると感じている。だが、装飾するという欲求についてだけをいえば、違うのは皮膚の上か、服を使ってかということだ。

ならば、私たちが普段“服”として纏っている柄やディティールが直接皮膚の表面に現れたら、どのように感じるのか。それを毎回パターンを変えて探っている。本作はその4作目であり、皮膚の上に千鳥格子、ペイズリー柄の刺繍を浮かび上がらせた。



技術・方法

刺繍

肌との段差がないよう薄手の生地に刺繍する。

生地は薄く、ラテックスが乾燥すると、まるで鳥肌が立っているかのような表面になるシルクジョーゼットを使用。



ラテックスを塗る

刺繍をしていない生地の部分にラテックスを塗る。

質感を損なわない程度に塗る。より薄い被膜を作るため LA-LATEX を使用。

着色

糸に絵の具がつかないように、マスキングテープを上から貼る。

質感を出すためにエアースプレーを使用してアクリル絵の具で着色する。



接着

出来上がったパーツをスピリッツガムで肌に接着する。

パーツと肌との境界をメイク用のリクイド ラテックスで潰し、上からグリースペイントやファンデーションでなじませる。



撮影

ライティング

モデルの頭上から 1 灯 (150W)

逆光で身体シルエットを浮かび上げらせ、さらに床にバウンスさせるよう 1 灯 (50W) セッティング。

ISO 感度：200

F 値：9.0

シャッタースピード：1/60



〈Wear a Skin vol. 4〉

2012 年

シルクジョーゼット

刺繍糸

造形・美術工芸用ラテックス LA-LATEX

アクリル絵の具

リクイド ラテックス（メイク用）

グリースペイント

写真撮影：筆者

撮影年：2012 年

過去の作品

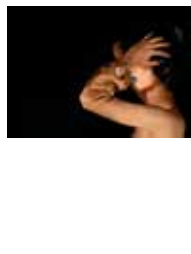


1. 〈Wear a Skin vol. 1〉

個展 2005 年 ギャラリー SPACE KIDS（東京・青山）

服のディテールや柄がミミズ腫れのように現れる。

（素材：特殊メイク用パター、グリースペイント）



2. 〈Wear a Skin vol. 2〉

2009 年 杉野服飾大学 杉野服飾大学短期大学部 紀要 Vol.8

皮膚が隆起して衣服になる。

（素材：天竺、ラテックス L-5000、アクリル絵の具）



3. 〈Wear a Skin vol. 3〉

未発表 2011 年 杉野服飾大学 杉野服飾大学短期大学部教員作品集

全身に動物の柄をボディペイントする。

（素材：クロマクリル、メイクアップフォーエバーアクアレル）